

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
第92回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和6年8月19日（月）
会場：大分商業高等学校 水球プール

ゲームNo.

15

帽子の色 白

帽子の色 青

西京

18

2	-	7
3	-	3
6	-	2
3	-	2
4	PSO	5

四日市中央工業

19

審判1：山崎 昇

審判2：唐木 慎太郎

戦評

12年ぶりの準決勝進出を目指す西京高等学校と2年連続での準決勝進出を目指す四日市中央工業高等学校の準々決勝。

第1ピリオド、青、四日市中央工業からのセンターボールで試合開始。

青⑥川原、ゴール前で退水を誘発し④松田のノールックパスに反応した②庄山が得点。青⑨小坂、退水を誘発し②庄山2得点目。青②庄山フリースローシュートから3得点目。白⑤松田、ゴールポスト直撃のシュートを決める。青⑦山本、退水を誘発するも得点に繋がらない。青⑦山本、パスカットから退水を誘発するも得点に繋がらない。白⑦濱川、退水を誘発し③井上からのアシストパスを受け⑤松田が打点の高いシュートを叩き込む。カウンターから青⑤園田がシュートを放ち得点。青④松田のボールカットから⑦山本が⑨小坂にアシストし得点。青②庄山、ミドルシュートで得点。白⑤松田、ゴール前で退水を誘発するも得点に繋がらない。青⑤園田、鮮やかなループシュートを決める。

第2ピリオド、青②庄山、退水を誘発し左サイドからハンドアップを抜くシュートを決める。白⑤松田、退水を誘発するもGK⑬湯浅が好セーブ。青⑤園田、退水を誘発し②庄山がGKの頭上を抜くシュートを突き刺す。白⑥上岡、ミドルシュートで得点。青⑤園田、相手ディフェンスを背負った状態から得点。白③井上、攻防転換から退水を誘発し、2分西京T0。セットポジションから白⑩若月が得点。白⑥上岡、退水を誘発し⑧長尾がシュートを決める。四日市中央工業が、5点リードし第3ピリオドを迎える。

第3ピリオド、青⑥川原、ゴール前で退水を誘発し⑦山本が得点。白③井上、退水を誘発し⑥上岡2得点目。青⑫山内、退水を誘発し得点。白⑩若月がゴール前で粘り、⑦濱川からのアシストを受け⑧長尾が得点。白④村岡、ミドルシュートを左隅に突き刺す。カウンター白⑩若月からアシストを受けた④村岡がワンタッチシュートを決める。3分48秒、四日市中央工業T0。白⑥上岡、ミドルバウンドシュートを決める。白⑩若月、退水を誘発し角度のないポジションから④村岡がポスト直撃のシュートを叩き込む。西京は、カウンターからの波状攻撃を繰り広げ得点差を1点で第4ピリオドを迎える。

第4ピリオド、白⑩若月、ゴール前からフックシュートを放ち12-12の同点に追いつく。青②庄山、退水を誘発し④松田が得点。青⑫山内、ミドルシュートを放ち得点。白③井上、フェイクシュートを決める。10秒、西京2回目のT0。白②荒川、相手ディフェンスに沈められながらも同点に追いつくシュートを決める。1秒、四日市中央工業2回目のT0。14-14同点。PSO青GK⑬湯浅が西京3人目のシュートを止め4-5で四日市中央工業が勝利した。

互いに最後の1秒まで死闘を繰り広げた結果、四日市中央工業が準決勝進出を果たした。

記録者

今崎哲也・柳川洋志・菅原剛